2022年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、多大なご支援、お引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。
改めまして　新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い終息を願っております。
一昨年来　様々な生活様式が変化し続けておりますが、昇降機が重要な社会インフラである使命のもと、どのような状況下においてもお客様に安心・安全をお届けできるよう、引き続き体制強化に努めてまいります。

2021年を振り返りますと、2020年と同様に「更なる飛躍のための助走期間」と位置づけ、「グローバルスタンダードを目指して本質的に価値のあることに力を入れる」という私たちが目指す方向にむかって、一層の成長・発展を図った年でした。

2020年に掲げた「5年後に保守契約台数10万台を目指す」という大きな目標の下、既存エリアの管理台数増加によるシェアアップ、M&Aによる進出エリアの拡大はもちろんのこと、これまで未進出であった東北・中四国・北信越地方での事業拡大に向け、先行投資の観点から新規拠点開設・従業員採用に力を注いだ年でもありました。

2021年9月末時点の保守契約台数は約74,500台、拠点数は116拠点と、加速した事業拡大のスピードが継続できましたのも、ひとえにステークホルダーの皆様の温かいご支援とご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

「何よりも安全のために」「見えないからこそ手を抜かない」「信頼を礎に」の経営理念の下、本年　当社グループでは、新たに迎えたM&Aグループ会社　11社とともに、私たちの強みである「適正価格で高品質なサービス」をより多くのお客様に提供し続けるべく、従業員教育・研修にも引き続き注力し、グループ全体の技術力・サービス品質の更なる向上を図ってまいります。

最後となりますが、皆様のこの一年のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2022年1月4日
ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
代表取締役会長　ＣＥＯ　石田　克史